慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	三田社会学会
Publication year	2015
Jtitle	三田社会学 (Mita journal of sociology). No.20 (2015. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-20150704--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三 田 社 会 学

第 20 号

2015 年

『三田社会学』創刊20年に寄せて　有末　賢　1

特集：在日外国人・マイノリティの現在――移住と定住をめぐって

特集「在日外国人・マイノリティの現在――移住と定住をめぐって」　柏崎千佳子　3
外国につながる生徒による日本の高校での学びの意味づけと「成功」の変容
――中国人およびフィリピン人生徒を中心に――　坪谷美欧子　6
朝鮮籍在日朝鮮人の「共和国」をめぐる語り
――ナショナル・アイデンティティ論の視角から――　李　洪章　22
在日パキスタン人移民のエスニック・ビジネスと越境する親族　福田　友子　38
外国籍（移住）女性をめぐる問題――日本で定住することの困難　鄭　暎惠　52
コメントに代えて
――「移動」へのエンパワーメントとしての「定住」支援に向けて　塩原　良和　65

論　文

フーコーのマグリット論――可視的なものと言表可能なもの――　大貫　恵佳　69
ポスト高度経済成長期の都市空間とサブカルチャー
――中野ブロードウェイの「サブカルチャー化」を事例として――　塚田　修一　83
「物質化」再考――バトラーによるブルデュ批判の先へ――　長野　慎一　97
H.ルフェーブルの「日常性」について　福田　光弘　111
食の実践と卓越化――ブルデュー社会学の視座とその展開――　村井　重樹　124

書　評

書評：大石裕著『メディアの中の政治』　山口　仁　138
書評：大澤真幸・塩原良和・橋本努・和田伸一郎編著
『ナショナリズムとグローバリズム』　稲津　秀樹　144
書評：岡原正幸編著『感情を生きる』　熊谷晋一郎　149
書評：鈴木智之著『「心の闇」と動機の語彙』　牧野　智和　153
著者リプライ　鈴木　智之　156
書評：昔農英明著『「移民国家ドイツ」の難民庇護政策』　久保山　亮　159
著者リプライ　昔農　英明　163
書評：竹ノ下弘久著『仕事と不平等の社会学』　長松奈美江　165
著者リプライ　竹ノ下弘久　168
書評：西村純子著『子育てと仕事の社会学』　石井ｸﾝﾂ昌子　170
著者リプライ　西村　純子　173
書評：干川剛史著『デジタル・ネットワーキングの展開』　吉原　直樹　176
著者リプライ　干川　剛史　180
書評：吉原直樹著『「原発さまの町」からの脱却』　伊藤　守　182
著者リプライ　吉原　直樹　185

書評：吉原直樹・近森高明編『都市のリアル』　澤　宗徳　188
書評：渡辺秀樹著『モデル構成から家族社会学へ』　三隅　一人　194
著者リプライ　渡辺　秀樹　197
書評：渡辺秀樹・竹ノ下弘久編著『越境する家族社会学』　木戸　功　199

大会報告要旨

批判的思考への動機づけ―好奇心の観点から―　齋藤　央典　203
中国における二つの輿論の乖離と統合
―ロンドン五輪をめぐる中国メディアの言説を事例として―　宋　愛　206

三田社会学会編